

請 願 文 書 表			
受理年月日	平成 26 年 11 月 25 日	請 願 者	近江八幡市堀上町 1 7 9 住みよい近江八幡市をつくる会 代表 檜山 秋彦
受理番号	請 願 第 5 号		
請 願 件 名	「幼稚園の保育料を引き上げないことを求める」請願		
請 願 要 旨	【請願趣旨】 近江八幡市は、平成 2 7 年 4 月から市立幼稚園の保育料の負担を引き上げる予定です。引き上げで教育内容も運営実態も変わることはありません。保護者の負担が増えるだけです。市の算定によると 9 割の世帯が引き上げになります。 市立幼稚園の保育料が私立幼稚園と同じ水準になれば、市立幼稚園は園児の流動化、定員割れが進み、やがて民間に売り渡すことになります。民間に譲渡した平成 2 5 年の島幼稚園にその先例を見ることができます。 近江八幡市では昭和 3 0 年、地域からの就学前教育の要望を受け、小学校の横に市立幼稚園を設置して出発してきました。関係者の努力のもとに約 6 0 年の歴史を持つ市立幼稚園は、市全体の幼児教育の水準ともなるべき内容を実践でつくりあげてきました。 また、同じ校区での幼稚園から中学校までの先生たちの研究活動を通じて P T A や地域諸団体との連携は、いわば地域力として子どもたちの成長に大きな役割を果たしています。 市立幼稚園がなくなれば、幼児教育の基準がなくなることになります。また、連綿と築いてきた教育における地域の関係もつぶすことにもなります。それに加え、親の収入によって幼稚園を選ぶ方向が強まり、幼稚園の格差という二極化が進み、幼児教育の水準の低下を招きます。それは子どもたちの教育の機会均等を奪うことになります。 1 3 7 0 筆の署名を添えて、以下の項目を請願し、その実現を求めます。 【請願項目】 近江八幡市立幼稚園の保育料を引き上げないで下さい。		
紹介議員	川崎 益弘 加藤 昌宏		